

幼小ジュニアプログラム

幼稚園・保育所の幼児、小学校低学年の児童向けの野外のプログラムです。団体で来館される場合に、事前に予約をしてご利用下さい。子ども達の活動に必要なものの中には有料のものもありますので、事前に博物館にご相談ください。

- このプログラムの指導者は団体引率の先生です。不明な点がありましたら事前に博物館職員と進め方やポイントなどを打ち合わせすることができます。(下見の際にお伝えすることもできます)
- 基本的にパッケージになっているので、持参するものはありません。
- プログラムに必要なものの受け渡しは、当日、インストラクターズルームで行います。実施する際にインストラクターズルームにお越しください。

落ち葉のお面でへんしんしよう

ねらい	落ち葉にはいろいろな形や色があることに気づく。 また、そのことを通して、自然のものを使って遊ぶ楽しさを感じさせる。
使用場所	どんぐりの森(遊具がある夢の広場のすぐとなりです)
活動時間	約40分
材料費	1人 100円
内容	お面の型紙に林に落ちている葉や木の実などをくっつけて自分なりのお面をつくる。
内容物	森は楽しい(紙芝居)、お面の台紙、のり、セロテープ、両面テープ、輪ゴム



博物館野外でお面づくりに使う落ち葉を探す



落ち葉のお面 (完成)

落ち葉のお面でへんしんしよう

活動のねらい

- ・ 野外の雑木林を利用し、いろいろな落ち葉をさがして遊ぶことを通して、自然に対して興味・関心をもたせる。
- ・ 落ち葉にはいろいろな色と形があり、それを使って遊べることに気づかせる。

活動時期

10月～12月

活動場所

落葉している林

活動時

40分

必要な道具

お面台紙, 落ち葉, セロハンテープ, 輪ゴム, 紙芝居
(森は楽しい)

活動の流れ

活 動	留 意 点
1 雑木林に行って全体の様子を知る。 ・ 林の中にはたくさんの木の葉がある。	○雑木林を見て、落ち葉がたくさんあることに気づかせる。
2 お面作りの説明を聞く。 ・ 雑木林にはたくさんの木の葉にはいろいろな形がある。	○お面はあらかじめ目をくりぬいておき、かぶれるようにしておく。 ○作業はテーブルの上で行わせる。
3 顔のいろいろな部分ににている落ち葉を集める。	○落ち葉には、いろいろな色や形があることに気づかせる。 ・ 園児と一緒に回りながら落ち葉をさがす。 [紹介したい落ち葉]【例】 ・ 少し大きめのアオギリの葉 ・ 細長く大きいトチノキの葉 ・ 針のようなマツの葉 ・ 長丸いサクラの葉 など ○大きな葉があれば、それをお面の顔にさせてもよい。
4 落ち葉を並べて顔をつくってみよう。	○さまざまな用具を使用しながら、オリジナルお面を作成していく。
5 お面で遊ぼう。 ・ できたお面をかぶって友だちと森で遊ぼう。	○自分のお面ばかりでなく、友だちのお面のできばえにも目を向ける。

評価の観点

- ・ ひとりひとりが楽しく活動し、落ち葉の色や形に対する興味・関心が高まったか。